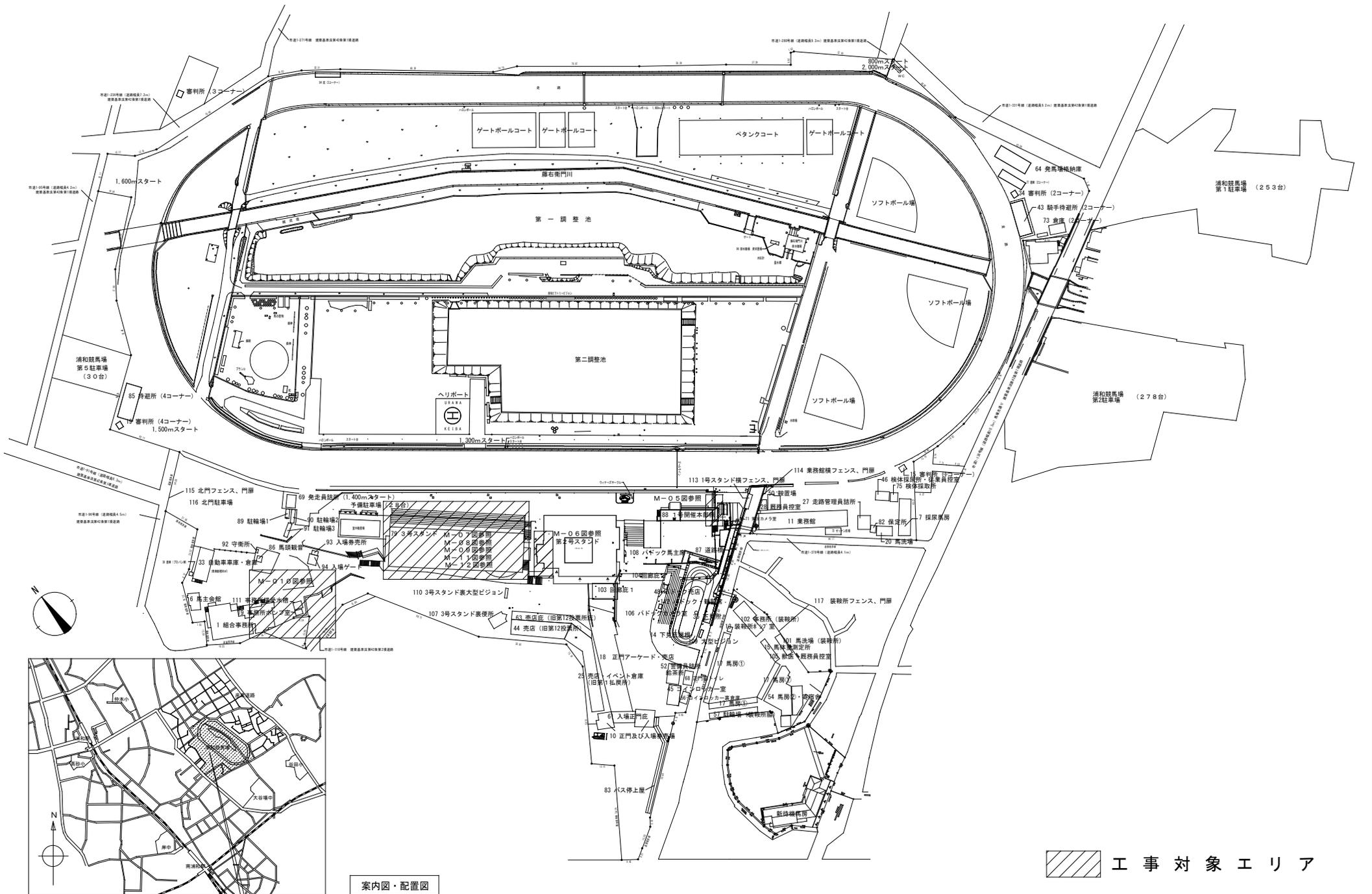


環境配慮 （グリーン） 改修工事	① アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1 本工事は、アスベスト含有物のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を除去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有物への開口などの小規模改修工事は本仕様準じで行うものとする。 2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁事務部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の現状等を反映する補修及び石綿除去漏えい防止対策標準マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省 環境省）による。																																																																																												
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 ・ 行う（下表による） [9.1.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </tbody> </table> 採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クワシタイト、クロソライト、アクチノライト、アンソサイト、トリモライト） 調査方法・分析方法 ※ JIS A 1481 規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。 分析結果については、監督員に提出すること。	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																		
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																												
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																													
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																													
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																													
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																													
3 アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による） 測定箇所 ※ 図示 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測 定</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各検体作業ごと)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>IA*1</td> <td>測定 1</td> <td>取捨作業室内</td> <td>※各2点 ・ 各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*2</td> <td>測定 2</td> <td>取捨作業前 施工区画周辺又は 敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*3</td> <td>測定 3</td> <td>取捨作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*4</td> <td>測定 4</td> <td>取捨作業中 ゼキユリフィー ゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを 確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*5</td> <td>測定 5</td> <td>取捨作業中 負圧・除じん装置の排出口 (取捨作業室内の場合)</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置 の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*6</td> <td>測定 6</td> <td>取捨作業中 施工区画周辺又は 敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*7</td> <td>測定 7</td> <td>取捨作業後 (閉鎖シート 撤去前)</td> <td>※各2点 (IA*3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*8</td> <td>測定 8</td> <td>取捨作業後 施工区画周辺又は 敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*9</td> <td>測定 9</td> <td>取捨作業後 シート撤去後 (1週間以降)</td> <td>※各2点 (IA*3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IA*10</td> <td>測定 10</td> <td>取捨作業後 施工区画周辺又は 敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ファン/採口の直径</td> <td>25 mm</td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトナートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> 報告書の作成（記録する項目） ア 測定結果 イ 測定時間 ウ 測定位置（測定高さとともに図面に記載） エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ径、吸引時間、吸引空気量） オ マウティング方法 カ 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ク 周辺地形や作業時の状況を撮影した写真	測 定	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各検体作業ごと)	備考	○	IA*1	測定 1	取捨作業室内	※各2点 ・ 各3点		○	IA*2	測定 2	取捨作業前 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点		○	IA*3	測定 3	取捨作業室内	各2点		○	IA*4	測定 4	取捨作業中 ゼキユリフィー ゾーン入口	各1点	空気の流れを 確認	○	IA*5	測定 5	取捨作業中 負圧・除じん装置の排出口 (取捨作業室内の場合)	各1点	除じん装置 の性能確認	○	IA*6	測定 6	取捨作業中 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点		○	IA*7	測定 7	取捨作業後 (閉鎖シート 撤去前)	※各2点 (IA*3は1点)		○	IA*8	測定 8	取捨作業後 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点		○	IA*9	測定 9	取捨作業後 シート撤去後 (1週間以降)	※各2点 (IA*3は1点)		○	IA*10	測定 10	取捨作業後 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡		ファン/採口の直径	25 mm	47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	試料の透明化	アセトナートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		定量限界	50 f/l	0.3 f/l
測 定	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各検体作業ごと)	備考																																																																																									
○	IA*1	測定 1	取捨作業室内	※各2点 ・ 各3点																																																																																										
○	IA*2	測定 2	取捨作業前 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点																																																																																										
○	IA*3	測定 3	取捨作業室内	各2点																																																																																										
○	IA*4	測定 4	取捨作業中 ゼキユリフィー ゾーン入口	各1点	空気の流れを 確認																																																																																									
○	IA*5	測定 5	取捨作業中 負圧・除じん装置の排出口 (取捨作業室内の場合)	各1点	除じん装置 の性能確認																																																																																									
○	IA*6	測定 6	取捨作業中 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点																																																																																										
○	IA*7	測定 7	取捨作業後 (閉鎖シート 撤去前)	※各2点 (IA*3は1点)																																																																																										
○	IA*8	測定 8	取捨作業後 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点																																																																																										
○	IA*9	測定 9	取捨作業後 シート撤去後 (1週間以降)	※各2点 (IA*3は1点)																																																																																										
○	IA*10	測定 10	取捨作業後 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点																																																																																										
測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5																																																																																												
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																													
ファン/採口の直径	25 mm	47 mm																																																																																												
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min																																																																																												
試料の吸引時間	5 min	120 min																																																																																												
試料の透明化	アセトナートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																													
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																													
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																													
定量限界	50 f/l	0.3 f/l																																																																																												

4 7μm ² 以上含有吹付け材の除去（レベル1）	アスベスト含有吹付け材の除去 ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門業者の仕様とする。 [9.1.3] 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密閉包装（二重袋包装） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能空気清浄機フィルタ、密じん機フィルタについても密閉処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処理を行う範囲			※ 図示																					
材 料 名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																										
		※ 図示																										
5 7μm ² 以上含有保温材等の除去（レベル2）	アスベスト含有保温材の除去 ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処理を行う範囲			※ 図示																					
材 料 名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																										
		※ 図示																										
6 7μm ² 以上含有成形板等の除去（レベル3）	1 アスベスト含有成形板の除去 ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等 [9.1.5] <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの濃度</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*</td> <td>※ 図示</td> <td>*</td> </tr> </tbody> </table> 2 非石綿部での切断による除去 ・ 行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの濃度</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン類）</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 除去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材付配管</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 除去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 除去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> ※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。 <参考>石綿使用有無の事前調査フロー <pre> graph TD A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --> B{可能性あり・不明} A --> C{可能性なし} B --> D["(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）"] D --> E{可能性あり・不明} D --> F{可能性なし} E --> G{分析を実施しない場合} E --> H{分析を実施する場合} G --> I{石綿含有とみなす} G --> J{石綿含有0.1%以下と判断} H --> K["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建築製品中のアスベスト含有率測定方法」など"] K --> L{石綿含有0.1%を超えていると判断} K --> M{石綿含有0.1%以下と判断} I --> N{石綿使用あり・届出要件確認・届出} J --> O{石綿使用なし} L --> N M --> O </pre> <参考>非放射性石綿含有建材を除去する時の作業フロー <p>1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2） 成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない放射性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。</p>	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの濃度	処理を行う範囲	*	※ 図示	*	*	※ 図示	*	*	※ 図示	*	*	※ 図示	*	材 料 名	含有するアスベストの濃度	処理を行う範囲	・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン類）	※ 図示	○ 除去範囲すべて	・ 石綿含有保温材付配管	※ 図示	○ 除去範囲すべて	・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	○ 除去範囲すべて
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの濃度	処理を行う範囲																										
*	※ 図示	*																										
*	※ 図示	*																										
*	※ 図示	*																										
*	※ 図示	*																										
材 料 名	含有するアスベストの濃度	処理を行う範囲																										
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン類）	※ 図示	○ 除去範囲すべて																										
・ 石綿含有保温材付配管	※ 図示	○ 除去範囲すべて																										
・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	○ 除去範囲すべて																										

<作業フローチャート> 	2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3） 建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。 <作業フローチャート> 	
3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2） 直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。 <作業フローチャート> 		



亀田 設備設計

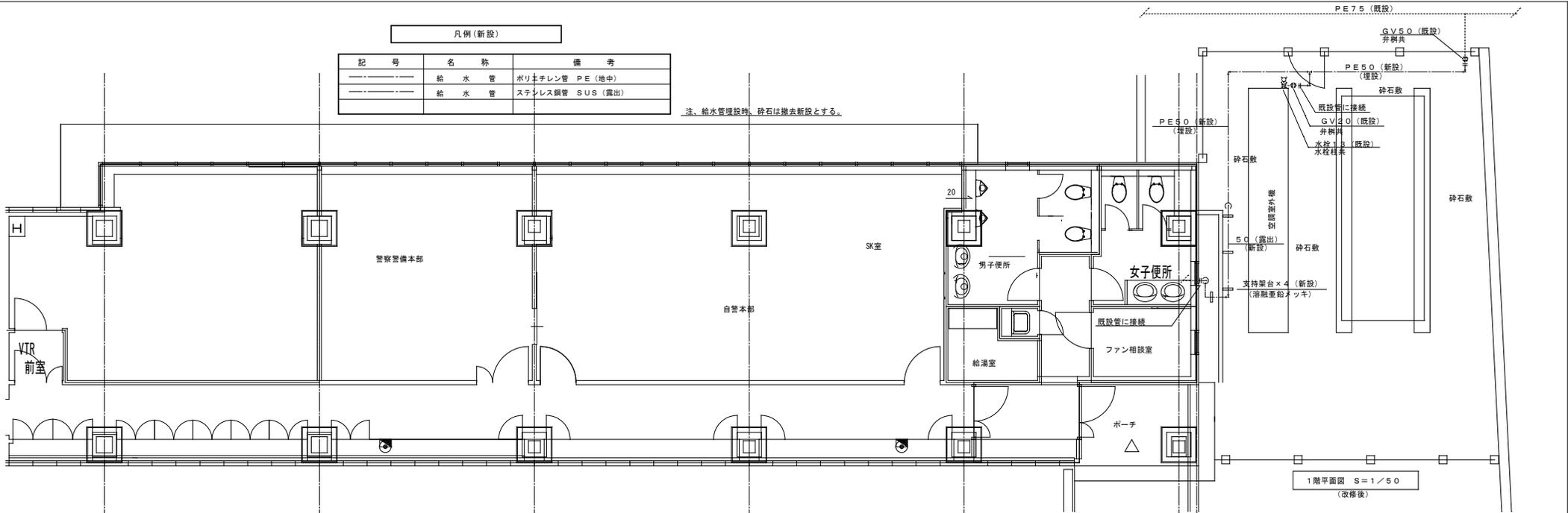
埼玉県浦和競馬組合

課長	副課長	主任	担当	日付	工事名	原簿No.
石井	中嶋	桑名	阿部	2023. 6. 30	浦和競馬場屋外給水管接続ほか工事	M-04
				縮尺	図面名称	
				A1 : 1/1000	配置図・案内図	

二級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11660号

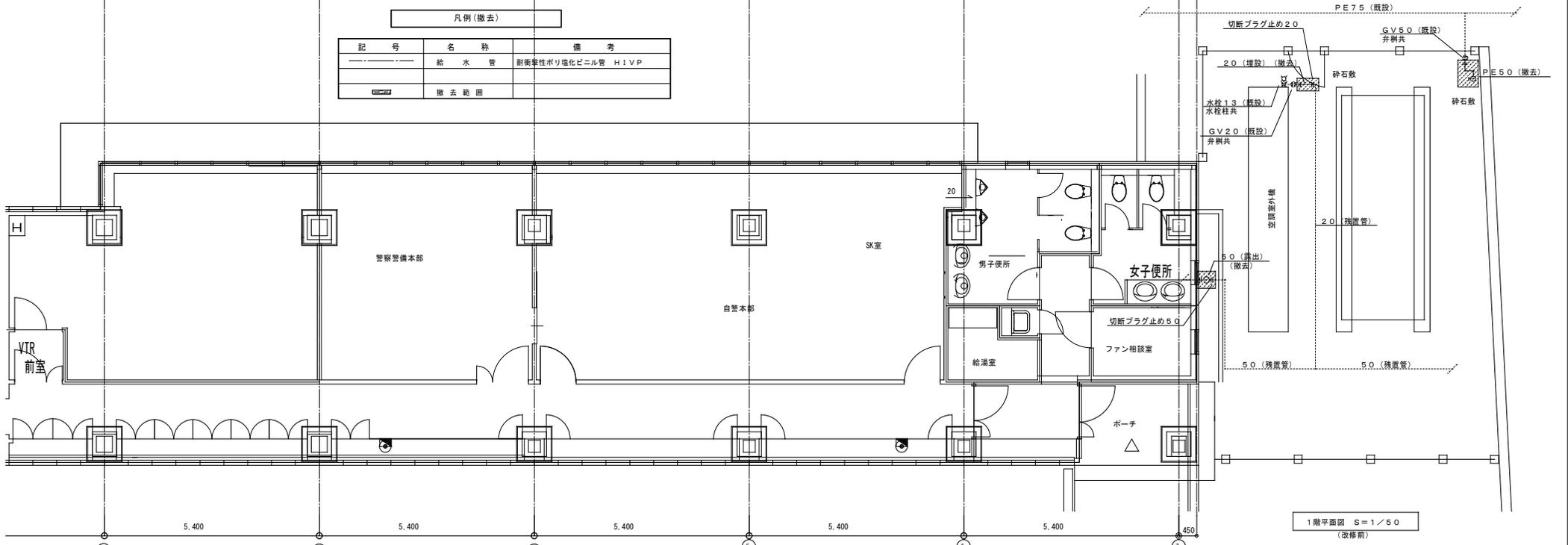
凡例 (新設)			
記号	名称	備考	
—●—	給水管	ポリチレン管 PE (地中)	
—○—	給水管	ステンレス鋼管 SUS (露出)	

注、給水管理設備、砕石は撤去新設とする。



1階平面図 S=1/50 (改修後)

凡例 (撤去)			
記号	名称	備考	
—●—	給水管	耐衝撃性ポリ塩化ビニル管 H1VP	
—○—	撤去範囲		

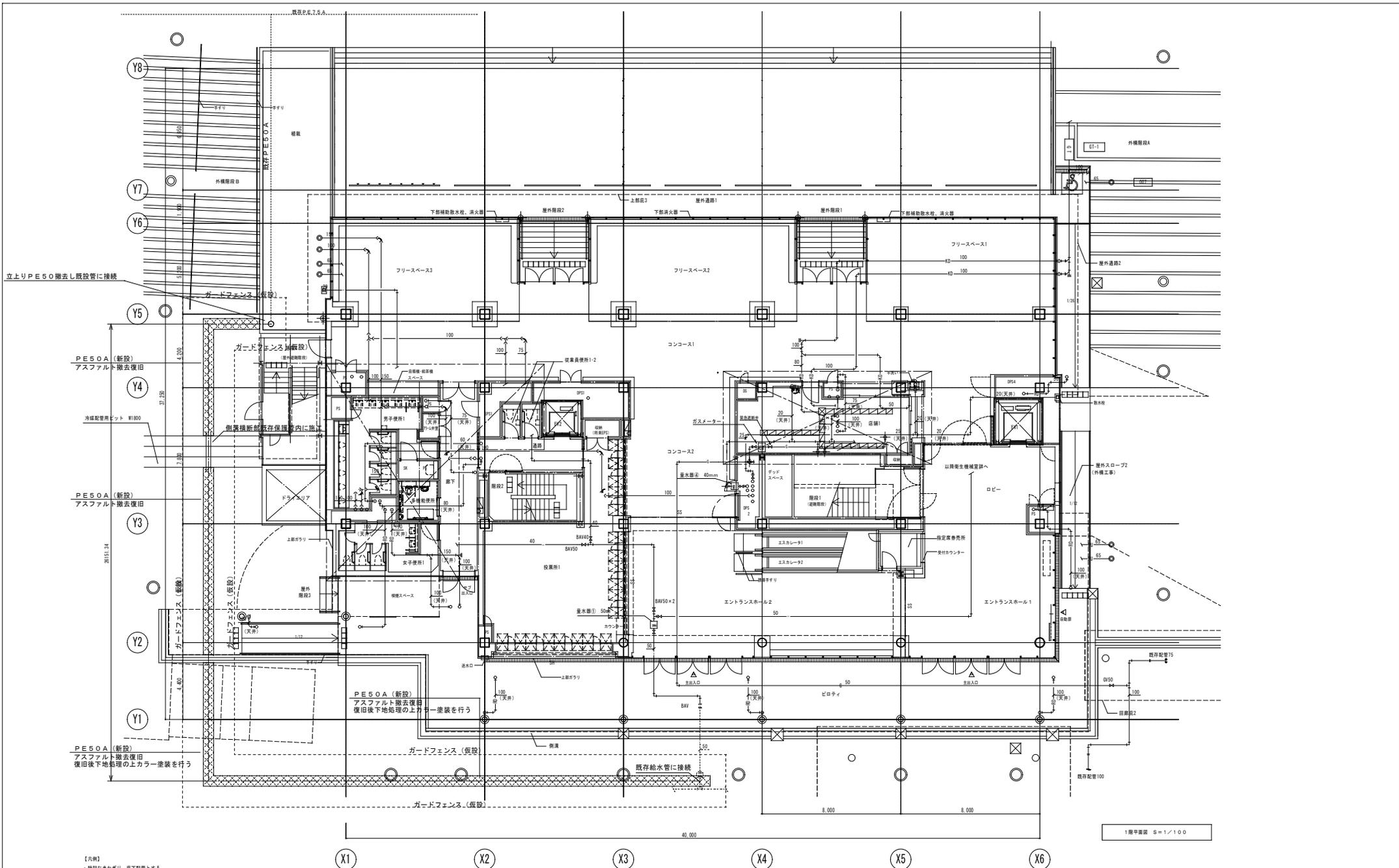


1階平面図 S=1/50 (改修前)

亀田 設備設計

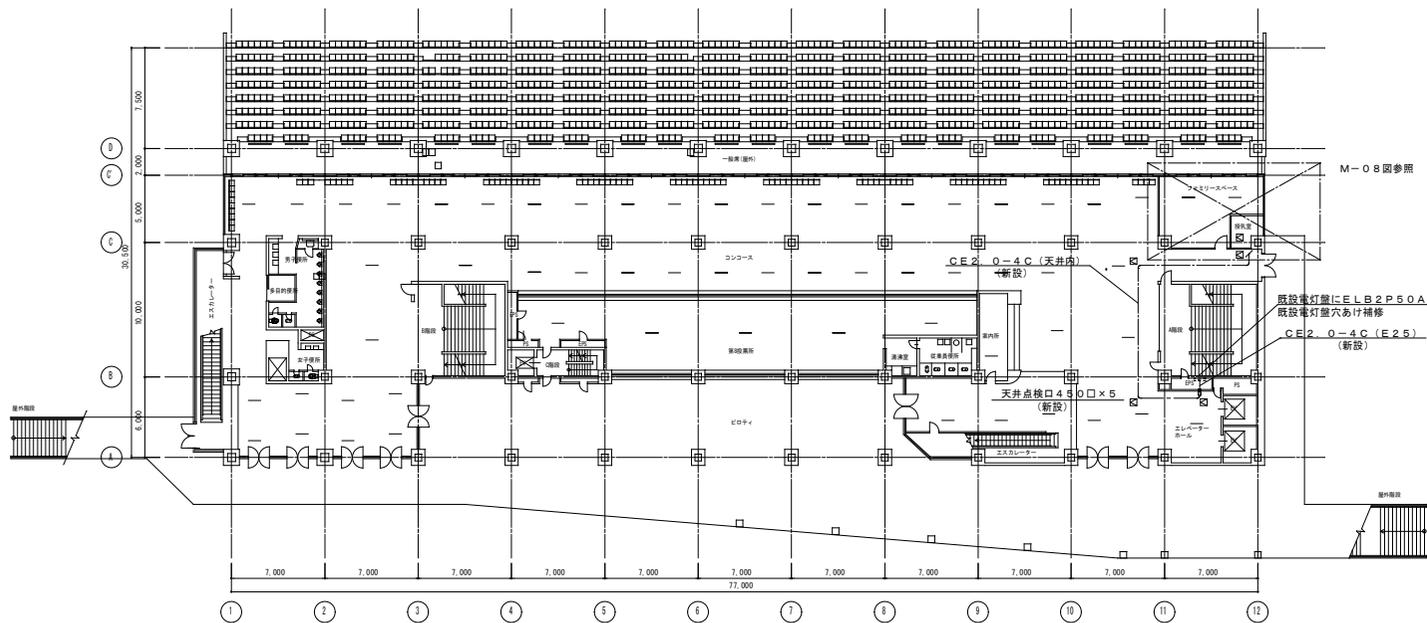
埼玉県浦和競馬組合

課長	副課長	主任	担当	日付	工事名	図番No.
石井	中嶋	桑名	阿部	2023. 6. 30	浦和競馬場屋外給水管接続ほか工事	M-05
				縮尺	改修前 改修後	1号スタンド平面詳細図
				A1: 1/50		

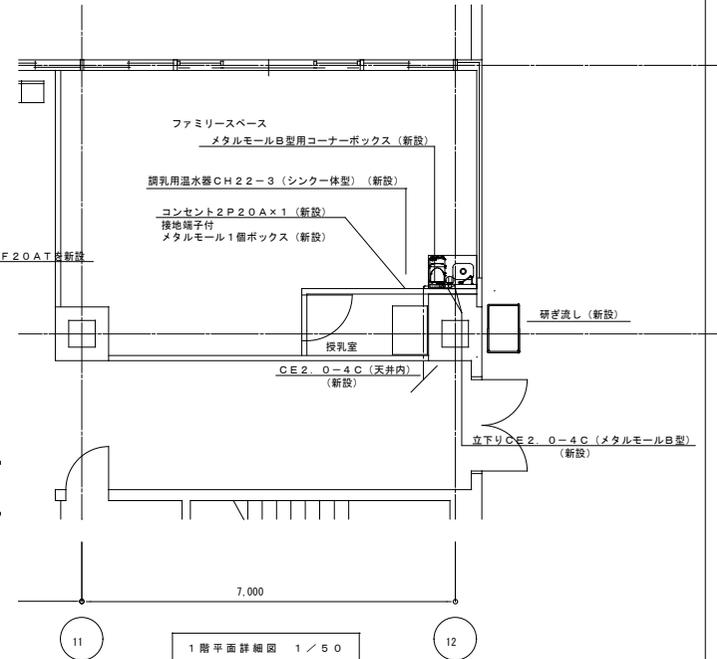


【凡例】
 ・特記なき限り、床下配管とする。
 ・は防火区画を示す。
 ・防火区画の区画貫通設備は、特記仕様書(3)2.2.15に準ずる。

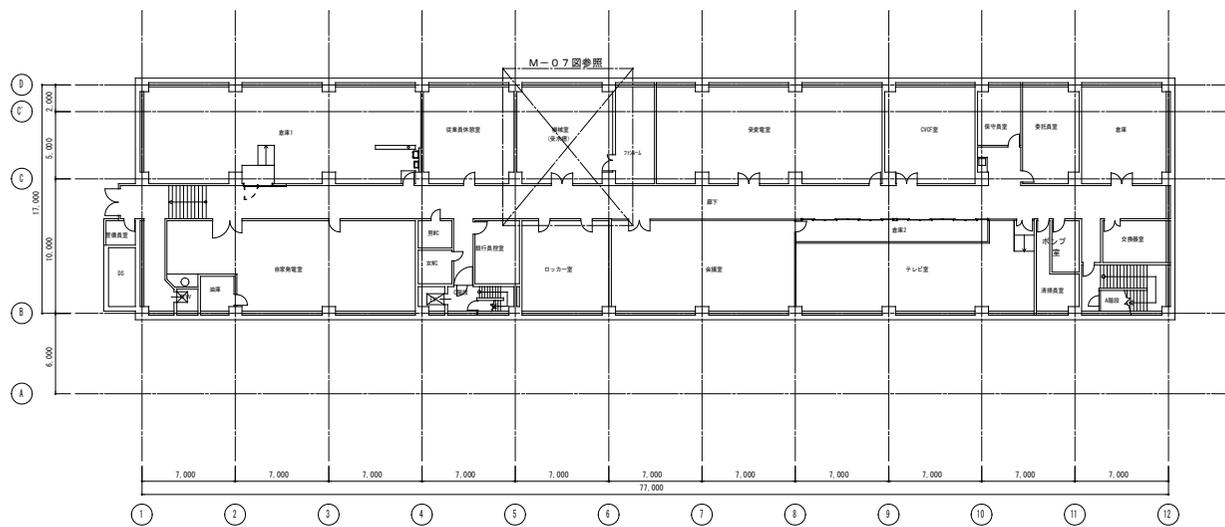
1階平面図 S=1/100



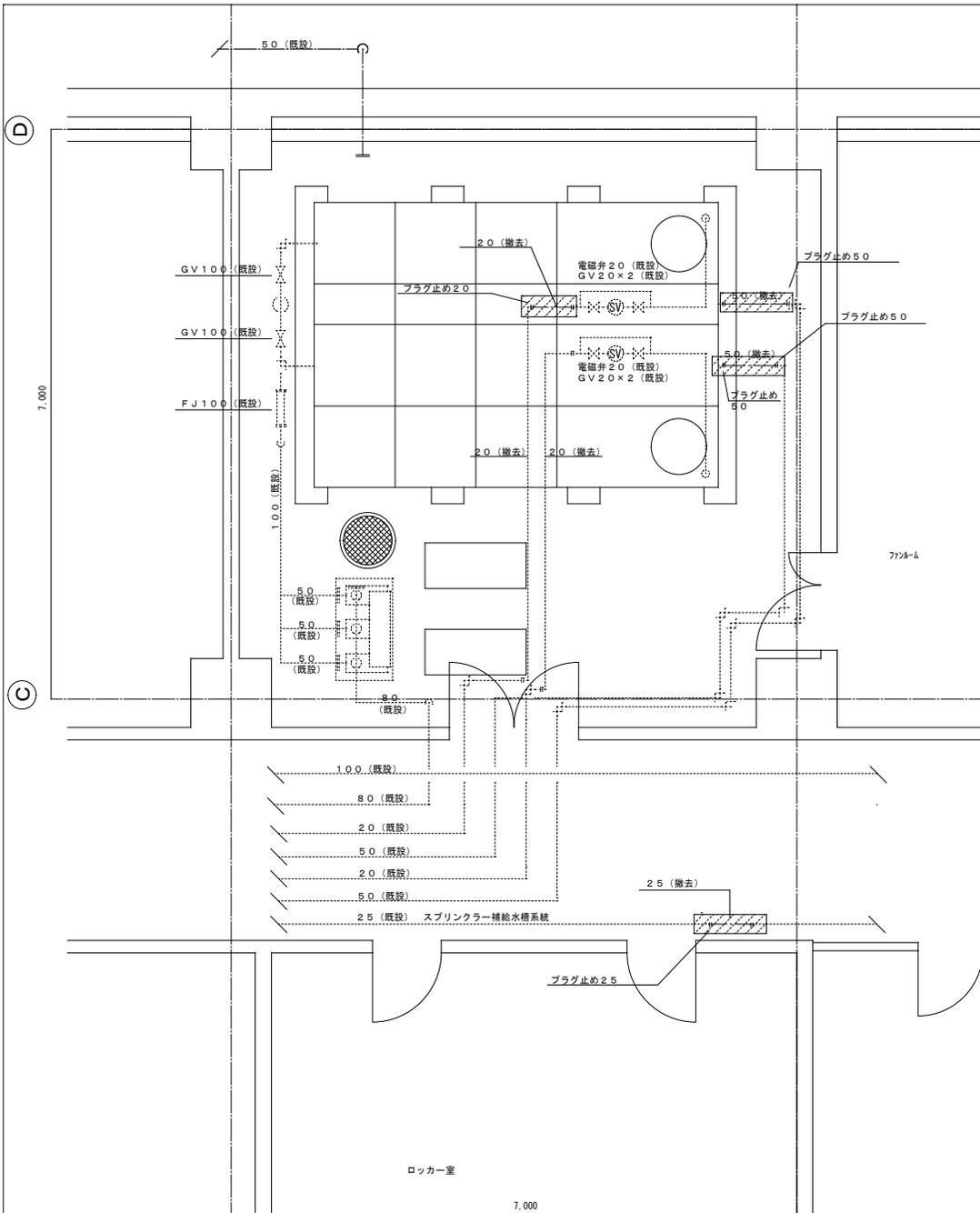
1階平面図 1/200



1階平面詳細図 1/50



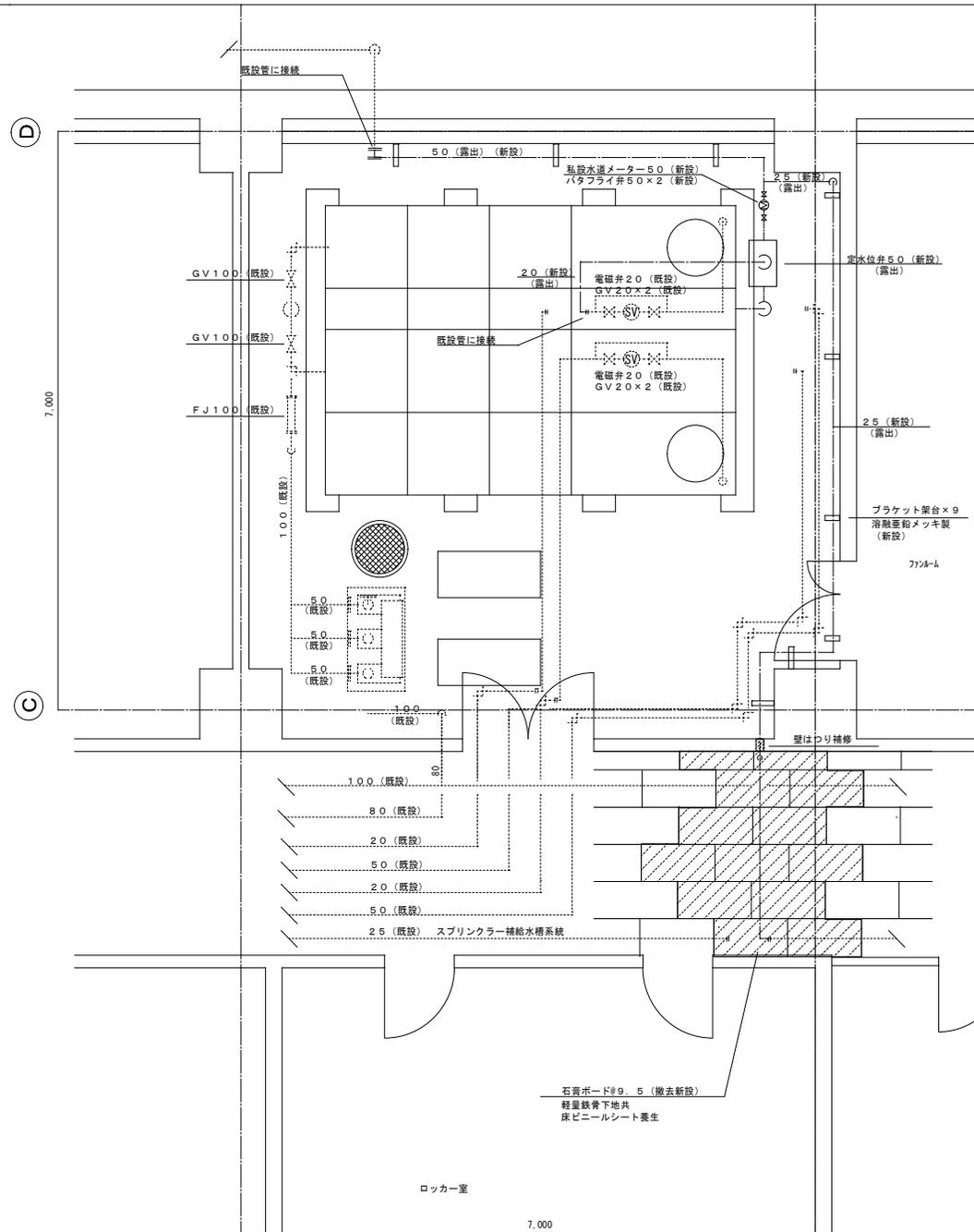
地下1階平面図 1/200



5

改修前 平面詳細図 S=1/30

6



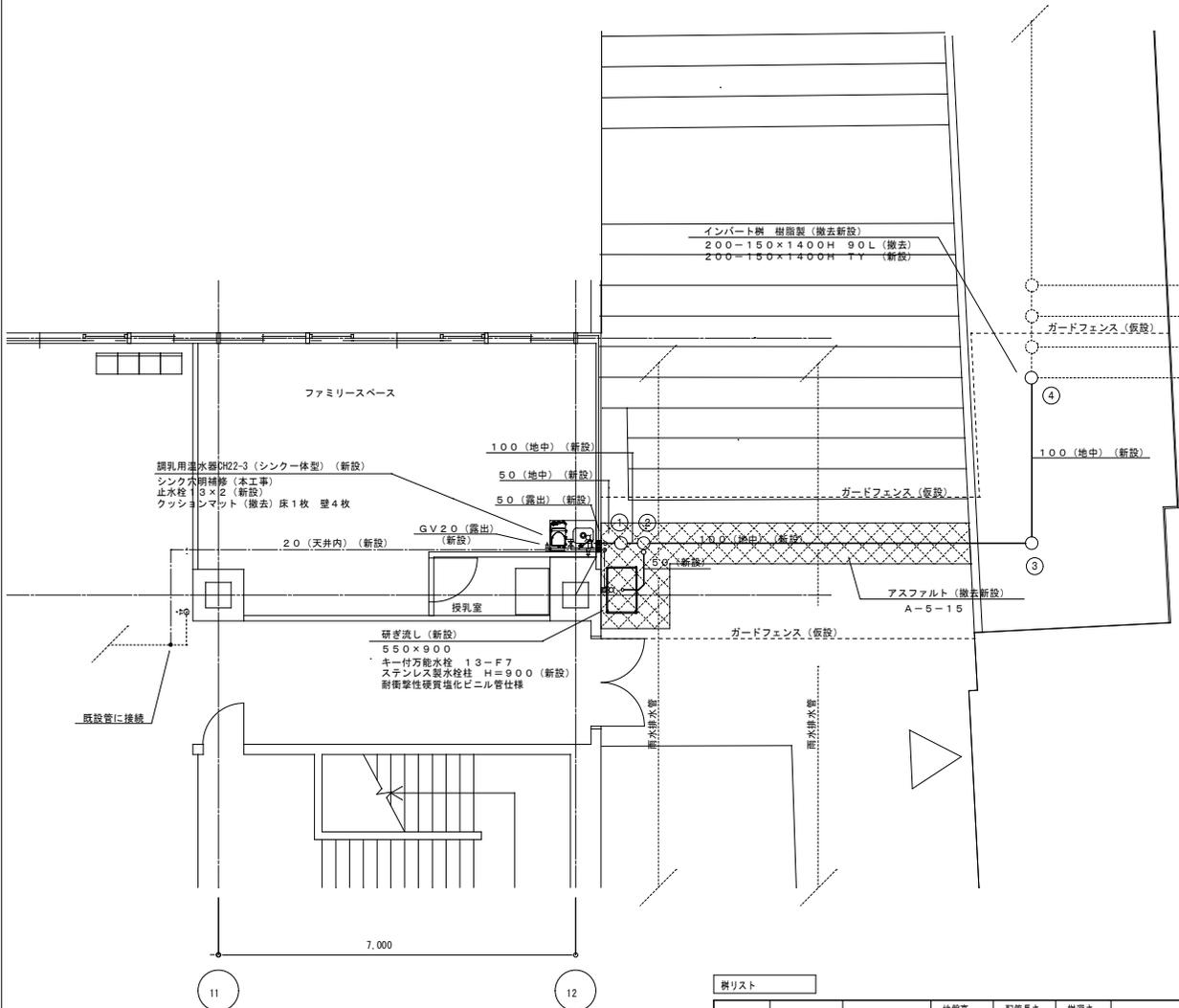
5

改修後 平面詳細図 S=1/30

6

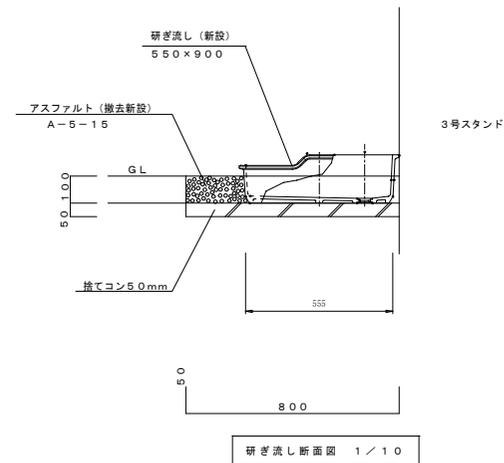
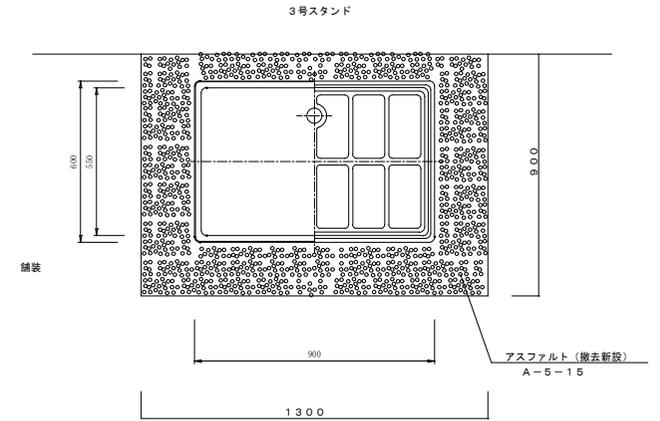
注、配管工事に伴う脚立足場、床養生は本工事とする。

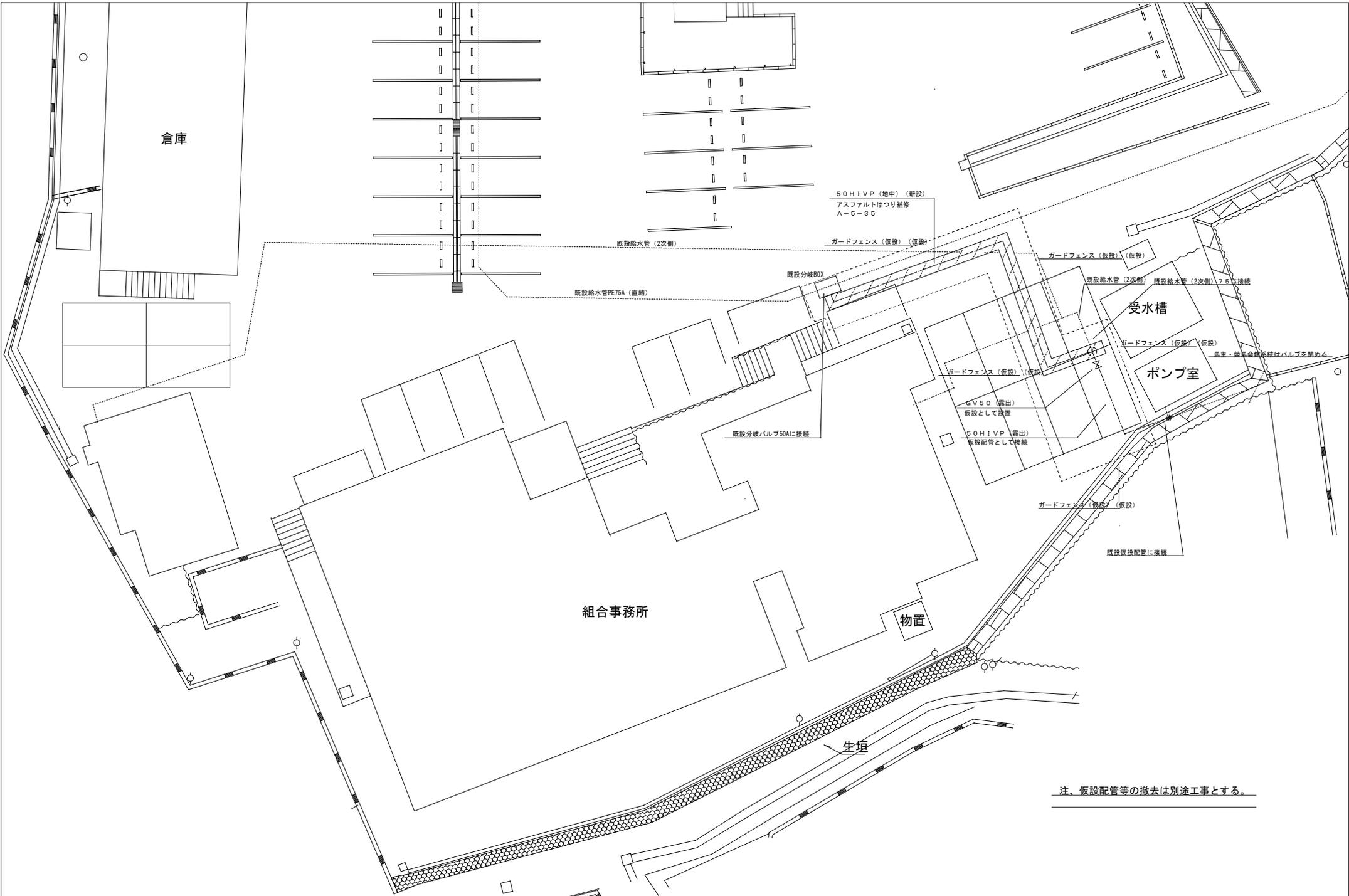
器具表 (参考)						
名称	仕様	授乳室	屋外	計	備考 (参考型番)	
調乳用温水器	シンク一体型 浄水器 水栓金物 給水金物 排水金物 他付属品一式 ヒーター容量 1φ100V 1.5KW	1		1	CH22-3	
万能水栓	13 キー付 他付属品一式		1	1	T200CSNR13/LF-7RG-13	
水栓柱	SUS L=900 耐衝撃性硬質塩化ビニル管仕様 他付属品一式		1	1	YS13-9P/1S×900	
研ぎ流し	900タイプ レジンコンクリート製 他付属品一式		1	1		



樹リスト

記号	樹種類	大きさ	地盤高 (mm)	配管長さ (m)	樹深さ (mm)	樹・蓋仕様	排水勾配
①	インバート樹	200-100	±0	0	500	ST 樹脂製 樹脂製蓋	2.0/100
②	インバート樹	200-100	±0	0.5	510	TY 樹脂製 樹脂製蓋 トラップ付	2.0/100
③	インバート樹	200-100	±0	7.6	660	90L 樹脂製 樹脂製蓋	2.0/100
④	インバート樹	200-150	-560	3.1	1400	TY 樹脂製 樹脂製蓋	2.0/100





50HIVP (地中) (新設)
 アスファルトはつり補修
 A-5-35

既設給水管 (2次側)

ガードフェンス (仮設) (仮設)

既設給水管PE75A (直結)

既設分枝BOX

ガードフェンス (仮設) (仮設)

既設給水管 (2次側)

既設給水管 (2次側) 75φ接続

受水槽

ガードフェンス (仮設) (仮設)

ポンプ室

馬主・経理会館接続はバルブを閉める

ガードフェンス (仮設) (仮設)

GV50 (露出)

仮設として設置

50HIVP (露出)

仮設配管として接続

既設分枝バルブ50Aに接続

ガードフェンス (仮設) (仮設)

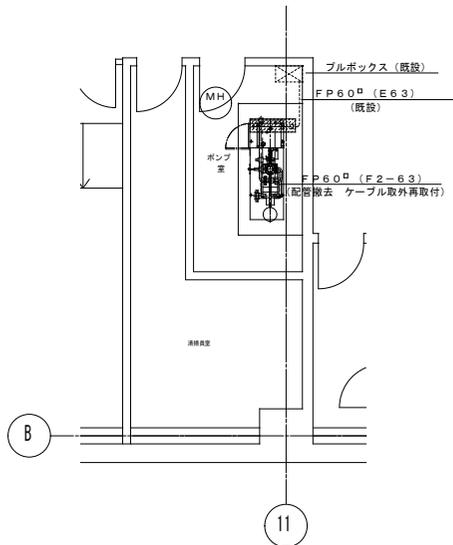
既設仮設配管に接続

組合事務所

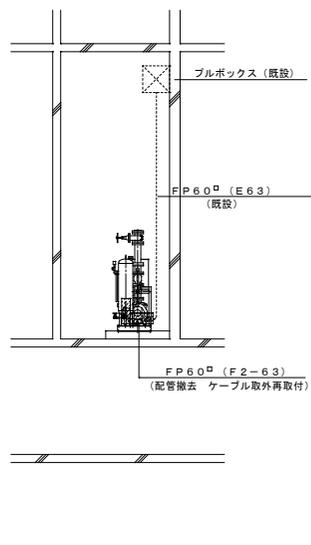
物置

生垣

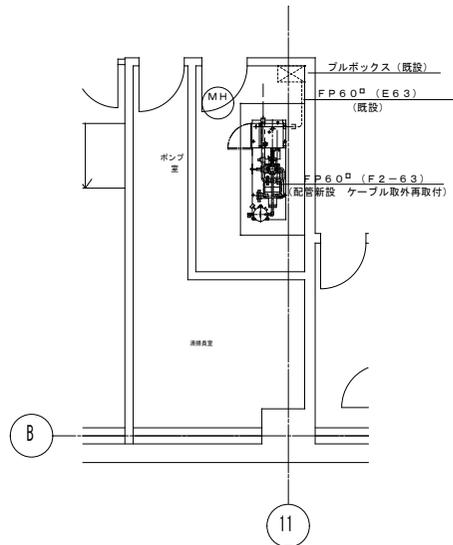
注、仮設配管等の撤去は別途工事とする。



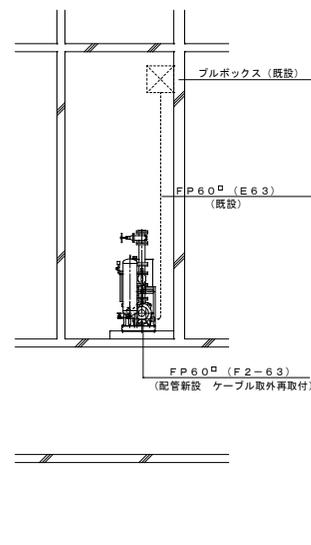
地下1階平面詳細図 1/50
(動力設備)
(改修前)



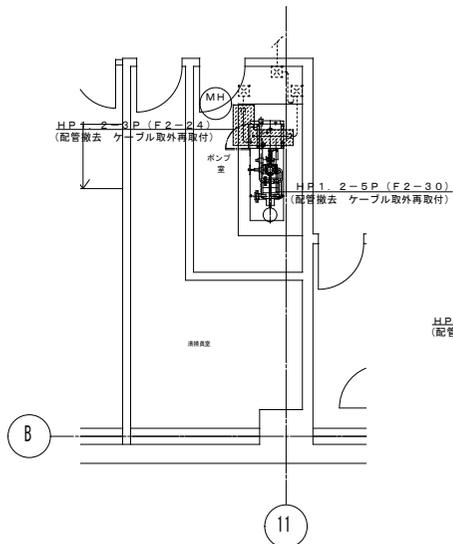
地下1階断面図 1/50
(動力設備)
(改修前)



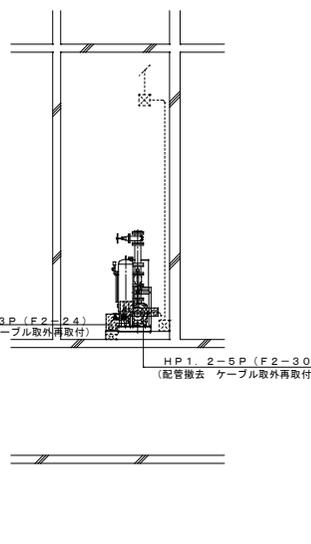
地下1階平面詳細図 1/50
(動力設備)
(改修後)



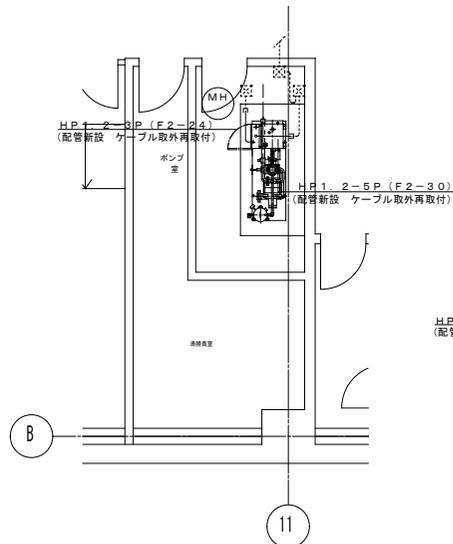
地下1階断面図 1/50
(動力設備)
(改修後)



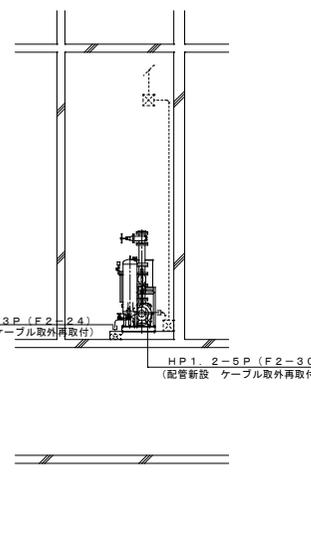
地下1階平面詳細図 1/50
(自動火災報知設備)
(改修前)



地下1階断面図 1/50
(自動火災報知設備)
(改修前)



地下1階平面詳細図 1/50
(自動火災報知設備)
(改修後)



地下1階断面図 1/50
(自動火災報知設備)
(改修後)